

平成 17 年 5 月 11 日

C 案

大川三瀨医師会長	一ノ瀬穂積
久留米医師会長	丸田宏幸
浮羽医師会長	戸次鎮史
小郡三井医師会長	丸山泉

諮 問

2005 年 2 月に久留米市と周辺 4 町との合併が施行され、今後保健事業をはじめとする新市と医師会との委託事業、および各医師会の運営や諸業務等に更に影響が出てくることが予想される。

しかし、私達はこの合併をよい機会と捉え、医師会としての先見性と見識を持ち、この地域での将来の医師会のあり方について十分な検討がなされるべきだと考える。

大川三瀨医師会長一ノ瀬穂積、久留米医師会長丸田宏幸、浮羽医師会長戸次鎮史、小郡三井医師会長丸山泉は連名にて、以下の事を各医師全員より構成される「明日の医師会のあり方を考える会（仮称）」へ諮問する。

1. 社会的に、より影響力のある医師会にするにはどうしたらよいか。
2. 当該地域における医師会の運営および枠組をどのように構築したらよいのか。

上記について平成 17 年度末までに中間答申をまとめられたくお願いするものである。